ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	NO.B-4	調査位置				北　緯	36 ° 28 ' 18.0000 "
発注機関	栃木県栃木土木事務所　河川砂防部			調査期間	2008-07-16 ～ 2008-11-12	東　経	139 ° 35 ' 50.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	225.09 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 15.00 °	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具	
総掘進長	5.07 m								エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	223.49	1.60	1.60		玉石混り砂礫 (GS-B)	暗褐			礫径10から70mm主体。 コア長5から10cmの玉石点在。 間隙に粘土分を含む粗粒砂充填 下部へいくに締まる。 含水比は中位から高位。		09/13 0.42
2	222.89	0.60	2.20		風化砂岩 (Ss)	暗灰			礫状コア主体。 固結し締まる。含水比は高位。		
	222.19	0.70	2.90		砂岩 (Ss)	暗黒			コア長5から17cmの短柱状主体 亀裂多く、面に沿って風化する 含水比は高位。岩質やや硬い。		
3					風化砂岩 (Ss)	暗黒			礫状、片状コア主体。全体に変質する。 コアは亀裂多く、比較的容易に破壊される。 含水比は高位。 全体的に岩の原形をとどめる。 コアは脆く、礫状に容易に破壊できる。 ※地下水無し※		
4											
5	220.02	2.17	5.07								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	18	32/8		50/18	>50
1.33					
2.15	50/4			50/4	>50
2.19					
3.00	50			50/10	>50
3.10					
4.00	50/9			50/9	>50
4.09					
5.00	50/7			50/7	>50
5.07					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験

掘進月日: 09/13, 09/15